



メインテーマ

微症状からみた保育

第6回 日本保育園保健学会 抄録集

会 場 なかのゼロ大ホール

会 頭 埴 賢二

会 期 平成12年10月28・29日

*The 6th. annual meeting of
The Japan Society for Well-being
of Nursery-schoolers*

ご挨拶

入園ニーズ率 up に伴う一考案

第2次ベビーブーム以来少子化はエスカレートし、厚生省発表の1月1日付人口動態推計では、出生数117万5000人で、出生率（人口千人比）では、9.4になり過去最低を記録した。

約20年前男女雇用均等法が施行され、加えてバブル経済崩壊も手伝って、共働き家庭が増加、子育ては保育園任せの家庭が急増した。ちなみに東京都中央区の保育園入園ニーズ率を見ると昭和53年には、12.6%であったのに出生数低下にもかかわらず、平成になってから急にupし、平成12年現在33.7%になり少子化とは裏腹に、保育園ニーズは高まってきた。こうした現象は母親の保育園に対する依存度と受け取れ、平成10年4月東京都にあっては、待機児が4万人を超えその対応に苦慮していると聞く。このため共働き家庭にあっては、親の観点から園児がチョット具合が悪くても保育園任せの傾向を生み、保育園の立場から見ると狭められた環境になるため、なげき節も囁かれている。

こうした観点から今回「微症状から見た保育」をメインテーマに選んだ次第である。

微症状については、保健婦、看護婦、保育士等と、母親の立場とそれぞれ違った考えがあるのは当然だが、園児自身からすると同一視されるべきと考えたい。

健康と病気の境界は、分かりきっているようでも健康には巾があり、それに下向きの健康？即微症状と考えられる場合となると、この扱いには苦慮するところである。

親の都合が優先の保育、将来社会性に欠けた子どもの生育につながらないよう努めることが、親の責務であると考えたい。

第6回日本保育園保健学会
会頭 塙 賢二

第6回日本保育園保健学会 プログラム

- 日 時：平成12年10月28日(土)・29日(日)
会 場：なかのゼロ大ホール(東京)
会 費：6,000円(当日)
交 流 会：10月28日18時40分～
中野サンプラザ13階鳳凰の間(東京都中野区中野2-1-1 JR中野駅北口前)
(参加費6,000円)
- 主 催：日本保育園保健協議会
後 援：厚生省・東京都・中野区・日本医師会・東京都医師会・日本小児科学会・
日本小児科医会・日本小児保健協会・東京小児科医会・全国社会福祉協議会・
日本保育協会・全国保育園保健看護婦連絡会
- 会 頭：塙 賢二(日本保育園保健協議会 顧問)
- プログラム委員：相澤 昭(相澤小児科)
池田 宏(池田小児科医院)
遠藤幸子(中野区立仲町保育園)
大木師磋生(大木小児科)
高岡久美子(大田区立久が原保育園)
高野 陽(日本子ども家庭総合研究所)
田中英一(田中歯科クリニック)
塙 佳生(東部地域病院小児科)
帆足英一(東京都立母子保健院)
松田光彦(松田小児科)

(敬称略、50音順)

メインテーマ：「微症状からみた保育」

(第1日) 28日 (土)

- 14:00 開 場
- 14:50 開会挨拶 第6回日本保育園保健学会会頭 埴 賢二
- 15:00~15:25 一般演題Ⅰ 保育A 座長 佐藤由美子 (乳銀杏保育園)
1. 乳幼児健康支援デイサービス・エンゼル多摩の
開設4年目の利用状況について
清水 晃他 川崎市 清水小児科クリニック
 2. 保育園と保護者が囑託医に望むこと
小國龍也他 大阪小児科医会PC部会
 3. 極低出生体重児の保育園における育児および発達
支援のあり方について－事例を中心に－
安藤朗子他 母子愛育会愛育病院
- 15:25~15:50 一般演題Ⅱ 保育B 座長 北野久美 (あけぼの保育園)
4. 北海道および札幌市における保育園児, 幼稚園
児の「遊び」に関する調査研究
本間美知子他 北海道 教育
 5. 保育園における助産婦の役割
山口いづみ 静岡県 助産婦
 6. 日本語で意志疎通の出来ない子どもの心の健康
への援助
佐藤桃子他 中野区 保育士
 7. 1日1回5分間のくすぐりタイム!
乳幼児保育者への援助事例から (第13報)
角田春高 岡崎市 教育
座長 高野 陽 (日本子ども家庭総合研究所)
- 16:00~16:50 教育講演「こころの微症状」
辰見敏夫 (東京学芸大学名誉教授)
座長 巷野悟郎 (日本保育園保健協議会会長)
- 17:00~18:00 会頭講演「かぜと紛らわしい乳幼児喘息の早期介入」
埴 賢二 (日本保育園保健協議会顧問)
座長 巷野悟郎 (日本保育園保健協議会会長)
- 18:00~ 特別講演「保育行政について」
清水美智夫 (厚生省児童家庭局保育課長)
- 18:40~20:40 交流会 (中野サンプラザ)

(第2日) 29日(日)

- 9:00 開 場
- 9:20~9:50 一般演題Ⅲ 感染症 座長 小國龍也(大林小児小児科)
8. 前年度のインフルエンザを振り返って、今年度
に向けての問題点
千葉昭典 足立区 千葉小児科内科医院
9. 練馬区保育園児(0,1歳)の耐性肺炎球菌,
インフルエンザ菌の蔓延状況
飯島健志他 練馬区医師会保育園医会
10. インフルエンザに対する医師の意識調査
古平金次郎他 東京小児科医会
- 9:50~10:20 一般演題Ⅳ 微症状 座長 高橋系一(東京小児科医会)
11. 保育園幼児に於ける微症状の基礎調査
伊藤和雄他 東京小児科医会
12. 微症状を有する子に対する保育所における対応
の現状
片桐真二他 大阪府医師会就学前児保健委員会
13. 子どもの微症状とその後の経過についての検討
今井七重他 岐阜市 看護婦
- 10:20~10:50 一般演題Ⅴ 喘息・アトピー性皮膚炎・除去食
座長 隅田展廣(隅田小児科)
14. 喘息児に対する音楽療法を用いた呼吸訓練
福田義子 八王子 音楽療法
15. スキンケア用品の新しい皮膚刺激評価法
鈴木民恵他 (株)ファンケル
16. 除去食療法はいつごろから解除できるのか
伊東 繁他 帝京大学医学部小児科
座長 埴 賢二
- 11:00~12:00 特別講演「優しいことばを心のひだに」
漆原智良(日本児童文学作家協会常務理事)
- 12:00~13:00 (昼 食)
- 13:00~13:30 (総 会)
- 13:40~14:00 一般演題Ⅵ その他 座長 赤松正根(赤松小児科内科医院)
17. 児童虐待に取り組んで
金森博美他 京都市 保育課
18. 外傷による歯の破折・脱臼について
大島 修他 柏歯科医師会

14：00～14：30 一般演題Ⅶ 投 薬 座長 松本寿通（松本小児科医院）
 19. 練馬区の保育園における与薬システム作成に
 ついて

小林光子他 練馬区 看護婦

20. 園内与薬状況と嘱託医との連携

武藤明美他 新潟県 看護婦

21. ガイドライン設定による保育所与薬

忍足美代子他 千葉市医師会保育所嘱託医部会

14：40～16：30 シンポジウム 座長 木屋和見（木屋医院）
 遠藤幸子（中野区立仲町保育園）

「子どもの微症状と保育の対応」

保育士の立場 佐々木妙子（慈愛会保育園 園長）

看護婦の立場 奈良平典子（高槻市立芝生保育所 看護婦）

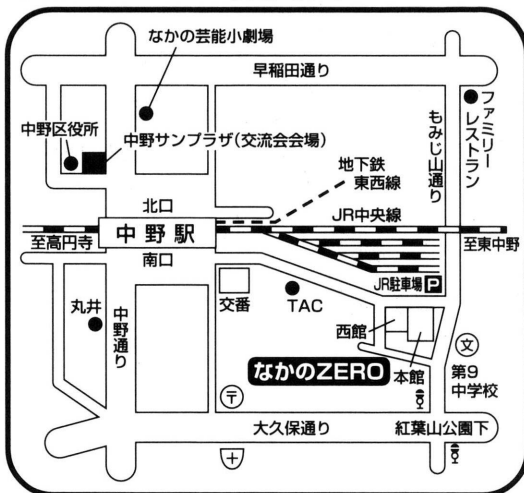
嘱託医の立場 南部春生

（日本保育園保健協議会副会長 嘱託医）

（討 論）

16：30～ 閉会挨拶 日本保育園保健協議会副会長 池田 宏

なかのZERO案内図



〒164-0001
 東京都中野区中野2丁目9番7号
 TEL 03(5340)5000

交通案内

【電車】 ●JR中央線・地下鉄東西線「中野駅」下車，南口から東へ徒歩7分

●地下鉄丸の内線「新中野駅」下車，鍋屋横町から北へ徒歩15分

【バス】 ●「紅葉山公園下」下車，北へ徒歩4分

●京王帝都バス（渋谷～中野坂上～中野駅南口渋谷64系統）・（永福町～中野 中71系統）

●関東バス（野方～新宿駅西口 宿05系統）